

第1 2022年度事業の執行概要について

I 概要

本会は、保健、医療、福祉及び教育等の分野において、専門職業人としての倫理と科学的かつ高度な技術に裏づけられた食と栄養の指導及び支援に関する事業を行い、県民の公衆衛生の向上に寄与することを目的としている。この目的を達成するために管理栄養士・栄養士活動を効果的に行う体制づくり構築のための公益目的事業の充実を図る。具体的には、県民のライフステージの特性に合わせた食育の推進による健康増進のほか、高齢者のフレイル・サルコペニア等の低栄養予防、糖尿病を中心とした疾病の重症化予防等の栄養改善活動をすべての会員がそれぞれの立場で協力し推進することが重要である。

また、災害時の食生活支援や地域における多職種との連携による栄養ケアの充実などの体制整備について継続するとともに、これらに対応できる人材育成を目的とした研修事業を開催した。

理事会、研修事業等については、いまだに終息しないCOVID-19への感染対策を継続しWebを活用するなど感染状況を踏まえた対応を継続した。

その他、各職域事業部や地域事業部においては、時代のニーズに基づいたタイムリーな事業を展開した。今年度は役員改選となることから、新役員が協力して事業の執行について協力した。

【スローガン】

① 医療から介護・在宅にいたるまでシームレスな栄養ケアを実現します

高齢者では、病院での治療が終了すると介護施設や在宅に退院する。入院中に医師及び管理栄養士をはじめとしたチームによる栄養管理により、栄養状態が改善することで疾病が安定し、症状が回復し退院となる。しかし、退院後の食生活が原因で再入院となるケースを経験する。そこで、入院時から退院、その後住み慣れた地域の施設や在宅においてもシームレスに栄養ケアが継続されるシステムを構築することで、地域包括ケアシステムに貢献することができる。

② 持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた食育を推進します

SDGsでは、17の目標が掲げられている。たとえば、「飢餓をゼロに（目標2）」、「すべての人に健康と福祉を（目標3）」など食事・栄養に関する、あるいは関連する目標が掲げられておりこれらを理解したうえで活動を行うことが重要となる。

II 業務部事業報告

1. 総務部

1-1 基本方針

本会予算の財源である会費収入はここ数年間減少傾向であったが、昨年度は徐々に回復しつつある。そこで、さらに会員増を進めつつ業務における経費の削減により事業への有効活用を進めていく。また、各事業における収支のバランスを維持しつつ、会員サービスや県民公開講座等の栄養改善活動や災害支援における協力体制の構築を行うなど公益事業の充実を図ることが重要である。

本会の運営基盤を充実するためには事務局の整備が重要であり、総務部の所管である事務局運営が円滑に行えるよう事務員の強化及び各事業部と連携し整備していく。

		<p>(意義と必要性)</p> <p>総会において決議された内容について、計画・実施・報告を行う。</p> <p>理事会は、法人の業務執行を決定し、理事の職務執行を監督するとともに、代表理事を選定・解雇する権限を持っている。代表理事がその職務上の義務に違反し又は職務を怠っている等の場合には、解雇権限を適切に行使することも理事会の責務である。</p> <p>(開催日および内容)</p> <p>IV－運営に関する会議 表1 参照</p>
共通	常任理事会	<p>(要旨)</p> <p>業務執行理事を中心に本会の運営や業務の執行について協議し、理事会への議案事項の確認・整理、日常業務の管理監督を行う。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>タイムリーな話題について協議し、理事会での専決事項を明確にすることで理事会のスムーズな運営につなげる。</p> <p>(開催日および内容)</p> <p>IV－運営に関する会議 表2 参照</p>
共通	賀詞交歓会	<p>(要旨)</p> <p>埼玉県知事を始め、県担当部門及び各種関連団体との交流を図るとともに、会員相互の親睦を図る。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>本会が行う事業を円滑に執行するためには、会員相互の親睦と賛助会員の協力及び行政機関、関連団体の理解が必要である。新年を迎えるにあたり、関係者が一堂に会し本会運営について理解を深める。</p> <p>財源は本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>期 日 2023年1月21日(土)12:00～14:30</p> <p>場 所 ロイヤルパインズホテル浦和</p> <p>参加費:10,000円</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止とした。</p>
公2	災害時支援(継続事業)	<p>(要旨)</p> <p>東日本大震災を教訓にして、不幸にも巨大地震等の大規模災害が発生した時の県民等に対する本会の行動支援計画を示すとともに、京浜地区及び近県で発生した時の本会の行動支援体制について示すものである。また、日本栄養士会JDA-DATへの協力体制を構築する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>本会における非常災害時における活動、支援体制、行政及び地域との連携、賛助会員である食品業者との協力体制を明確にすることで県民への支援を円滑に行うことができる。</p> <p>財源は、本会会費と参加費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>研修会</p> <p>JDA-DAT活動連携及びfollow up研修会</p> <p>(要旨)</p> <p>本会会員のJDA-DAT活動賛同者を県内の地域事業部にチーム編成し活動できる体制を構築していくことで災害時の活動をスムーズにしていく。説明会は活動の内容やチームの編成について賛同した会員に理解してもらう。Follow up研修では基本研修、リーダー研修で学んだことを共有し、災害時の連携効果を図る。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>説明会においては、JDA-DATの役割と必要性を会員に周知してもらいfollow up研修では活動がスムーズにできるように訓練として位置づける。</p>

2. 企画学術部

2-1 基本方針

日本栄養士会の生涯教育制度について会員が理解して、認定管理栄養士・認定栄養士を目指せるよう基本研修や実務研修を充実していく。また、基本研修会の一部を地域事業部と協働して開催するなど、地域の活性化に繋げる。

実務者研修会では、最新の各種病態ガイドラインや栄養・食育、食品衛生に関する情報など現状のニーズに基づいたタイムリーな研修事業をすすめる。

これらすべての事業を効率的かつ標準的に実施し、それぞれの事業評価を行う体制を作る。

2-2 主な事業

① 公開講座の開催（栄養ケア・ステーションとの連携）

公益目的事業として管理栄養士、栄養士のみならず多職種や県民のニーズに基づいた事業を行う。

なお、公開講座については、定時総会およびその他、市民公開講座事業等を開催する。

② 生涯教育研修会

栄養ケアプロセス（NCP）の修得についての基礎研修、実務研修などの基本的な専門性の向上をはかる。非会員や多職種の参加を促し、公益社団法人としての役割を明確にする。

また、最新の各種病態ガイドラインや栄養・食育等に関する研修会なども取り入れて、専門的・学術的な知識を養う。

③ 栄養ケア実務者研修会（2日間）（栄養CSとの連携）

地域包括ケアシステムの構築に対応するため、栄養ケア・ステーションにおける在宅栄養ケアを担える潜在管理栄養士等の人材確保を行う。

日本栄養士会認定栄養ケア・ステーションの設置に向けての受講を促進するとともに地域の医療施設等の管理栄養士の理解を得ることにより、埼玉県栄養士会の医療介護地域連携拠点となる栄養ケアユニットを公募する。

その他、各市町村からのニーズが想定される地域ケア会議のアドバイザーおよび高齢者に対するの保健指導、介護予防に関する事業を担当できる資質をもった管理栄養士を育成する。

④ 管理栄養士・栄養士ファーストステップ（初任者）研修会（2日間）

本研修会は、ファーストレベルの主に新任者（就業1～3年目程度）を対象としたプログラムである。非会員を含む管理栄養士・栄養士、または休業後の復帰を目指す潜在の管理栄養士・栄養士を対象として職業倫理等生涯教育基本研修必須プログラム及び栄養マネジメントや栄養指導の演習などを通じてスキルアップを図り、県民への公衆衛生の向上に寄与する。また、栄養士会への理解を深め組織強化につなげる。

⑤ 地域ケアを推進するための研修会（地域活動事業部との連携）

地域包括ケアシステムの構築が進むなか、管理栄養士の顔の見える関係作りのみならず多職種との連携が重要となる。医療・介護・福祉施設及び在宅においてシームレスな栄養ケアを推進するため各地域事業部が中心となり栄養療法及び栄養管理についてのアウトカム評価に関する研修会を実施する。

⑥ 各研修会開催にあたり、感染状況を踏まえてZoomなどを利用したWeb研修会を行う。

また、Web研修会の最大の特徴を活用し幅広く会員を募集するとともに、国内全域の講師の招聘を行う。

2-3 具体的な事業内容

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	生涯教育研修会	1-1-1 生涯教育研修会 (要旨) 管理栄養士・栄養士が質の高い事業を行うためには常に新しい情報を持つことはプロとして必須である。それぞれの分野における第1人

		<p>講師 埼玉医科大学健康推進センター/予防医学センター副センター長 埼玉医科大学病院内分泌・糖尿病内科 教授 井上郁夫</p> <p>参加費 4,000円(会員2,000円)</p> <p>第5回生涯教育研修会 (参加者 10名)</p> <p>期 日 2023年3月11日(土)</p> <p>場 所 栄養士会研修室及びZoomによるオンライン開催</p> <p>講 演 1・2 栄養管理のモニタリング・再評価 演習 (基本必須演習1単位 4-9)</p> <p>講師 (公社)埼玉県栄養士会副会長・城西大学薬学部特任准教授 水野文夫</p> <p>参加費 4,000円(会員2,000円)</p>
公1	研修会	<p>1-1-2 地域栄養ケア実務者研修会 (要旨)</p> <p>地域で未就業の潜在管理栄養士・栄養士及び地域での栄養ケア活動に関心のある管理栄養士・栄養士を対象とする。2日間修了者には、栄養ケア育成研修会修了証を発行する。 (意義と必要性)</p> <p>在宅医療・介護の基礎知識と、現場で活躍できるよう実践的な演習を組み合わせた研修会で、現在県内においても構築されつつある地域包括ケアシステムにおいて多職種連携として活動できる管理栄養士の育成を目指して実施する。 財源は、本会会費及び参加費を充てる。 (実施状況)</p> <p>7月16日・17日(土・日) (参加者 29名)</p> <p>場 所 栄養士会研修室及びZoomによるオンライン開催</p> <p>参加費 4,000円(非会員8,000円)</p> <p>1日目</p> <p>講義Ⅰ 本会における認定栄養CSと栄養ケアユニットについて</p> <p>講義Ⅱ 診療報酬・介護報酬の改定による栄養CSの役割 (業務委託契約、連携など)</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会会長 平野孝則</p> <p>講義Ⅲ 介護保険2021及び介護報酬2022の改定(栄養関係) ～地域における介護保険と診療報酬についての基礎知識～</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会副会長 前川哲雄</p> <p>講義Ⅳ 1. 施設系サービスにおける栄養ケア・マネジメントの充実 ・栄養マネジメント強化加算(ポイント) 2. 通所系サービス等における栄養ケア・マネジメントの充実 ・口腔・栄養スクリーニング加算 ・栄養ケア・マネジメント加算 ・栄養改善加算 ～各事例による様式の記入方法について～</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会福祉事業部 和多勝弘</p> <p>講義Ⅴ 栄養食事指導の基本 主な疾患別指導例</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会副会長 水野文夫</p> <p>2日目</p> <p>講義Ⅵ 摂食・嚥下機能障害患者への栄養ケア</p> <p>講 師 キッセイ薬品工業(株) 中沢尚武</p> <p>講義Ⅶ 自立支援型地域ケア会議の概要</p> <p>講義Ⅷ 自立支援型地域ケア会議の実際</p>

		<p>健康・公衆衛生の向上に貢献する。</p> <p>本研修は、管理栄養士・栄養士の他、専門職種及び一般県民を対象とする。</p> <p>財源は本会会費とする。</p> <p>(実施状況)</p> <p>定時総会 (参加者 872名)</p> <p>期 日 6月3日(金)</p> <p>場 所 埼玉県県民健康センター</p> <p>記念講演</p> <p>講 演 からだの健康とプロバイオティクス</p> <p>講 師 ヤクルト中央研究所研究管理課 増岡範江</p>
共通	企画学術部会	<p>(要旨)</p> <p>企画学術部会の開催により、事業の企画運営についての検討を行う。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>生涯教育等の計画を行うとともにアンケート等により実施後の評価を行うことで研修事業の充実を図る。また、理事会で各事業の進捗状況や結果報告を受けて協議し、調整を行う。</p> <p>(開催日及び内容)</p> <p>IV-運営に関する会議 表3-2 参照</p>

3. 広報部

3-1 基本方針

機関誌、広報紙やホームページを通じて県民及び会員への栄養・食育に関する情報提供を行い、県民に対して健康増進に寄与する。また、各業務部、事業部との連携を図る。

3-2 主な事業

- ① 機関誌「いしづえ」、広報紙「埼玉ニュース」の発行
上記配信サービスなどデジタル化の推進（新規）
- ② ホームページの運営・更新の充実
・毎月、更新ページを明確にしたタイムリーな情報の発信
- ③ SNSを活用した会員ネットワークの構築
最新情報の提供を図り会員サービスの利便性及び情報共有の向上を図る
- ④ 賛助会員等への広告の公募
- ⑤ 県民に対する栄養情報パンフレット等の作成

3-3 具体的な事業内容

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (事業報告)
公1 管理	機関誌 「いしづえ」	<p>(要旨)</p> <p>管理栄養士・栄養士の専門性の向上に関する情報の発信、各種事業及び研修会の予定や報告を行う。また、会務報告や賛助会員の紹介を行う。さらに、県民に関しての情報発信として栄養・食育、食品の安全安心に関する情報を掲載する。</p> <p>(意義と必要性)</p> <p>県民に対しての栄養改善、健康の保持増進を行うための情報発信と本会会員への情報提供により自己啓発を行うことに貢献する。</p> <p>財源は、本会会費及び広告料とする。</p> <p>(発行日)</p> <p>No.161 9月10日 No.162 2023年1月20日</p>

公2	研修会申し込みの簡素化	(要旨) 研修会の申し込みをホームページから行う。 (意義と必要性) 案内から切れ目無く申し込み手続きが完了し、参加人数の増加が期待できると同時に、参加者名簿の一元管理が可能になり事務処理の効率化も図ることができる。 (実施状況) 研修会申し込みをホームページから実施出来るようにして利便性、効率化を図った。
公2	賛助会員等への広告の公募	(要旨) 賛助会員等への広告の公募を行う。 (意義と必要性) 法人事業を賛助する個人又は団体に対して、総会資料や埼玉ニュース、ホームページ、いしづえの広告の公募を案内し、法人事業の費用に充て活動の充実を図ることができる。 (実施状況) 9団体より申し込みがあった。
公2	県民に対する栄養情報パンフレット等の作成	(要旨) 県民に対する栄養情報パンフレット等の作成を行う。 (意義と必要性) 県民に対して栄養・食に関する科学的根拠に基づいた内容をわかりやすく伝え、正しく理解してもらうことで健康の維持増進が期待できる。 (実施状況) 「栄養一口メモ」としてテーマごとに発信した。
共通	広報部会	(要旨) 広報部会の開催により、広報活動の日程・担当者等を決定する。 (意義と必要性) 各事業部及び事業部と連携し、計画的に会議を行うことで効率的に広報活動を行う。 (開催日及び内容) IV－運営に関する会議 表3-3参照

3. 組織部

4-1 基本方針

本会の運営は会費が主な財源となっていることから、組織強化を図る上で、就業している管理栄養士・栄養士の把握やそれらの入会率を調べて現状の把握に努める。また、退会の理由や会員のニーズを調査し会員サービスの向上に努める。さらにポイントカードの周知を図り多くの会員の使用を促進する。

4-2 主な事業

- ① 会員の動向の把握（会員数、表彰者の把握）
- ② 会員増対策
 - ・入会案内等を活用し養成校や行政機関等に出向いてPRを行う。
 - ・非会員に周知出来るよう、入会案内等を関係機関、ハローワーク等に常設する。
 - ・退会希望会員に対しては、埼玉会員を紹介する。
- ③ ポイントカードの利用を促進し、新入会員、賛助会員の紹介によるポイント付加を周知する。
- ④ 広報部と連携して会員に対してメールマガジンやフェイスブック等を利用した情報伝達の効率化を図る。
- ⑤ 賛助会員用入会案内を活用して、食・栄養関連企業への勧誘を行う。
- ⑥ 栄養ケア・ステーション部と連携し、各事業における人材バンク登録者を把握する。
- ⑦ その他、組織強化のための事業を推進する。
- ⑧ 会員の動向の把握（資格取得数、就業栄養士数と入会率）

共通	優良栄養士表彰 埼玉県栄養士会 日本栄養士会	(要旨) 県民に対し多年にわたり栄養改善に貢献された管理栄養士・栄養士、 或いは本会発展に永年にわたり寄与したものに表彰する。 (意義と必要性) 本会の趣旨に賛同し、多年にわたり県民の健康増進に寄与されたもの を表彰することで、その活動を評価し感謝の意を表する。 (実施状況) 2022年度優良表彰者は、日本栄養士会表彰 12名、埼玉県栄養士会 表彰10名であった。
共通	埼玉県知事表彰候 補者の推薦	(要旨) 埼玉県栄養士関係功労者表彰実施要綱に基づいて、栄養改善及び食 生活改善の普及向上等に功績のあった者で、本会の運営に貢献した栄 養士を推薦する。 (意義と必要性) 栄養指導功労者を推薦することで、功労のあった者の労苦に報いる とともに、栄養行政の一層の推進に資するものである。 (実施状況) 2022年度知事表彰は9名、1施設であった。
共通	組織部会	(要旨) 具体的で効率的な組織強化を検討し、会員増に向けて活動を行う。 (意義と必要性) 各業務部及び事業部と連携し、計画的な会議の準備を行うことで効 率的に組織強化に関する活動を行うことが出来る。 (開催日及び内容) IV－運営に関する会議 表3-4 参照

5. 栄養ケア・ステーション部

5-1 基本方針

栄養ケア・ステーションの拠点整備を図ることにより、食育の推進、栄養改善、傷病者への栄養食
事指導、高齢者への介護予防等を通じて、県民の福祉の向上と健康増進に寄与する。また、これらの
事業を展開するにあたり県内市町村保健センター、地域包括支援センター、クリニック等への広報活
動を進めていく。

また、地域包括ケアシステムの構築に向けて、栄養ケアの地域連携拠点である栄養ケアユニット、
日本栄養士会認定栄養ケア・ステーションの設置を推進する。

5-2 主な事業

- ① 国、県、市町村並びに関連団体の健康づくり、栄養に関する各種施策会議等への参加
健康長寿埼玉県民会議、埼玉県食育推進会議、彩の国コミュニティ協議会、地産地消推進会議、
埼玉県食の安全フォーラムなど。その他、地域包括ケアシステムに対応した各種運営会議（大宮
ケアネット、コミュニティケアネットワーク川越など）との連携を図る。
- ② 埼玉県米消費拡大推進連絡協議会主催事業への参加協力
・米まつり栄養相談（食と農林業ドリームフェスタ）
各種団体との参加のなかで、健康、栄養のスペシャリストとして、栄養相談等を行うことでよ
り県民に栄養士会を身近に感じていただく絶好の機会とする。
・県産米粉を使ったクッキング、おにぎり教室など食育推進を目的としているが、児童施設など
東西南北開催会場では好評を得ている。年々、担当者の意識と業務遂行も定着しつつある。
- ③ 無料栄養相談、市民公開講座を毎月1回開催する。
本会研修室を活用し、県民に対して公開講座や食事の支援および栄養相談を実施し地域栄養コ
ミュニティの拠点とすることで県民の公衆衛生の向上に寄与する。

		<p>2. 通所系サービス等における栄養ケア・マネジメントの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔・栄養スクリーニング加算 ・栄養ケア・マネジメント加算 ・栄養改善加算 <p>～各事例による様式の記入方法について～</p> <p>講師 (公社)埼玉県栄養士会福祉事業部 和多勝弘 講義Ⅴ 栄養食事指導の基本 主な疾患別指導例 講師 (公社)埼玉県栄養士会副会長 水野文夫</p> <p>2日目</p> <p>講義Ⅵ 摂食・嚥下機能障害患者への栄養ケア 講師 キッセイ薬品工業(株) 中沢尚武 講義Ⅶ 自立支援型地域ケア会議の概要 講義Ⅷ 自立支援型地域ケア会議の実際 講師 (公社)埼玉県栄養士会常任理事 川嶋啓子 講義Ⅸ 訪問栄養食事指導の実際 講師 埼玉精神神経センター (公社)埼玉県栄養士会常任理事 関口礼子 演習Ⅰ 事例から学ぶ訪問栄養食事指導 講師 埼玉精神神経センター (公社)埼玉県栄養士会常任理事 関口礼子</p>
公2	<p>栄養改善、健康づくり及び生活習慣病予防に関する事業</p>	<p>(要旨) 栄養ケア・ステーション等を通じて生涯を通じた食育や健康づくり、生活習慣病予防を目的に地域に密着して実施するもので、講演会、食生活相談・指導、調理実習、展示等を通じて正しい知識の普及と実践への支援を進める事業</p> <p>(意義と必要性) 栄養相談等の栄養ケア事業を通じて栄養に関する知識を学び、栄養改善、健康づくり及び生活習慣病予防に寄与する。 財源は本会会費を充てる。</p> <p>(実施状況) 1-1 無料栄養相談</p> <p>(要旨) 無料栄養相談を開催し、県民の生涯を通じた栄養改善を指導・支援することで県民の公衆衛生の向上に寄与する。</p> <p>(意義と必要性) 無料栄養相談を通じて栄養に関する知識を学び、栄養改善、健康づくりおよび生活習慣病予防に寄与する。</p> <p>1-1-1 無料栄養相談及び市民公開講座 (相談件数 11件) 期 日 毎月第1水曜日 場 所 栄養士会研修室 担当者 人材バンク</p> <p>1-1-2 栄養の日のイベント 栄養ワンダー 2022 (参加者 18名) 期 日 8月6日(土) 場 所 栄養士会研修室 担当者 理事</p> <p>1-1-3 米まつりにおける骨密度測定・食生活相談 新型コロナウイルス感染拡大につき中止</p> <p>1-2 栄養相談</p> <p>1-2-1 2022看護デー 新型コロナウイルス感染拡大につき中止</p> <p>1-2-2 ヤクルト栄養相談 新型コロナウイルス感染拡大につき中止</p> <p>1-2-3 第57回全国糖尿病週間行事 新型コロナウイルス感染拡大につき中止</p>

		<p>場 所 デイサービスけやきホームズ 内 容 栄養改善プログラム 担当者 人材バンク</p> <p>1-3-10 西区シルバーライフ向上 (参加者 60名) 期 日 10月12日・26日、11月2日・3日 場 所 西区内公民館 内 容 しっかり食べて健康長寿 担当者 人材バンク</p> <p>1-3-11 (株)日さく (参加者 100名) 期 日 5月11日(水) 場 所 オンライン 内 容 生活習慣病予防・改善のための食生活 担当者 人材バンク</p> <p>1-4 栄養教室 1-4-1 県産米を使用した米粉親子クッキング及びおにぎり教室 (要旨) 県産米を使用した米粉親子クッキング及びおにぎり教室を開催し、 県民の生涯を通じた栄養改善・支援することで県民の公衆衛生の向上 に寄与する。 (意義と必要性) 県民を対象に事業を行うことで栄養に関する知識を学び、栄養改善、 健康づくり及び生活習慣病予防に寄与する。 財源は委託料(埼玉県米消費拡大推進連絡協議会)とする。 (実施状況) ・親子クッキング(新型コロナウイルス感染拡大につき中止) ・おにぎり教室 (新型コロナウイルス感染拡大につき中止)</p> <p>1-5 被留置者における食事の栄養分析事業 (要旨) 埼玉県警察本部総務部留置管理課等からの依頼を受けて、管理栄養 士・栄養士が被留置者に支給する1日分の食事の栄養分析を行う。 (意義と必要性) 被留置者に提供する弁当についての栄養量を計算することで、被留 置者の提供栄養量を把握する。 (実施状況) 期 日 6月～2023年3月 (実施回数 4回)</p> <p>1-5-1 外食栄養成分表示 (要旨) 飲食店より依頼を受けて、管理栄養士、栄養士がメニューの栄養分 析を行う。 (意義と必要性) 飲食店のメニューについての栄養量を計算し示すことで、埼玉県健 康づくり協力店となることができる。</p> <p>1-6 さいたま市健口教室・健口づくり交流会・さいたま市栄養地 域活動支援事業 (要旨) 地域包括ケアシステムに向けて地域における介護予防が重要とな る。また、予防事業に取り組む場合においてもその改善効果に対する 評価が求められる。そこで、介護予防に関して栄養や食事の改善が重 要であることから本事業においては、その効果を検証する。 (意義と必要性) 高齢者のフレイル、サルコペニアの予防に関しては、運動と栄養、 口腔ケアの重要性がエビデンスとして定着してきている。そこで地域 における多職種との連携により栄養改善を行うことで介護予防に繋げ る。 財源は、委託料及び本会会費を充てる。</p>
--	--	---

		<p>(実施状況)</p> <p>2-2-1 宮代町介護予防事業(二次予防) 新型コロナウイルス感染拡大につき中止</p> <p>2-2-2 小川町元気アップ教室 (参加人数 5名) 期日 2023年1月28日(土) 場所 小川町立八和田公民館 内容 栄養講座 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-3 川越市専門職自主グループ支援に係わる出前講座 (18ヵ所 参加人数 計18名) 期日 6月～2023年3月 場所 川越市内 担当者 川越市事業部</p> <p>2-2-4 杉戸町地域リハビリテーション活動支援事業 (延べ参加人数 75名) 期日 9月～2023年3月 場所 杉戸町内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-5 坂戸市フレイル電話栄養相談 (相談件数 27件) 期日 12月 場所 坂戸市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-6 坂戸市訪問型サービスC (延べ参加人数 32名) 期日 4月～2023年3月 場所 坂戸市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-7 川島町フレイル予防栄養相談 (実施数 19回) 期日 4月～2023年3月 場所 川島町内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-8 川島町訪問型サービスC (実施数4件 11回) 期日 4月～2023年3月 場所 川島町内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-9 八潮市介護者サロン (延べ参加人数 30名) 期日 6月25日(土)・9月10日(土) 場所 八潮市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-10 越谷市専門職による介護予防出張講座 (延べ参加人数 167名) 期日 6月～2023年3月 場所 越谷市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-11 東松山市高齢者保健事業と介護予防一体化事業 (延べ参加人数 95名) 期日 9月1日～9月22日(5日間) 場所 東松山市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-2-12 蕨市一般介護予防事業 (延べ参加人数 30名) 期日 6月5日・2023年2月15日 場所 蕨市内 担当者 人材バンク</p> <p>2-3 地域包括ケアシステムへの対応 (要旨) 平成27～29年度厚生労働省栄養ケア活動支援整備事業で設置した</p>
--	--	---

- ・口腔・栄養スクリーニング加算
 - ・栄養ケア・マネジメント加算
 - ・栄養改善加算
- ～各事例による様式の記入方法について～

講師 (公社)埼玉県栄養士会福祉事業部 和多勝弘
 講義Ⅴ 栄養食事指導の基本 主な疾患別指導例
 講師 (公社)埼玉県栄養士会副会長 水野文夫

2日目

講義Ⅵ 摂食・嚥下機能障害患者への栄養ケア
 講師 キッセイ薬品工業(株) 中沢尚武
 講義Ⅶ 自立支援型地域ケア会議の概要
 講義Ⅷ 自立支援型地域ケア会議の実際
 講師 (公社)埼玉県栄養士会栄養ケア・ステーション部長 川嶋啓子
 講義Ⅸ 訪問栄養食事指導の実際
 講師 埼玉精神神経センター
 (公社)埼玉県栄養士会常任理事 関口礼子
 演習Ⅰ 事例から学ぶ訪問栄養食事指導
 講師 埼玉精神神経センター
 (公社)埼玉県栄養士会常任理事 関口礼子

2-4-2 地域ケア会議アドバイザースキルアップ研修会
 (参加者 18名)

(概要)

地域ケア会議アドバイザーの管理栄養を対象にスキルアップを目的として担当者による情報共有及び事例検討会を行う。

期日 9月17日(土)
 場所 栄養士会研修室及びZoomによるオンライン開催
 内容 ・講義 障壁を超える連携をしていきたい
 講師 介護支援専門員 多田功文
 ・事例検討会

2-4-3 地域栄養ケア連携会議 (参加者 27名)

(概要)

各栄養ケアユニット、認定栄養ケア・ステーションの代表者による情報交換、本会栄養ケア・ステーションとの連携を図ることを目的とし、地域栄養ケア連携会議を開催する。また、地域で活動している管理栄養士・栄養士のマンパワーの確保、および地域における栄養ケアの実施状況把握のため、実態調査を行う。

期日 11月12日(土)
 場所 栄養士会研修室及びZoomによるオンライン開催
 内容 各認定栄養ケア・ステーションの活動報告
 検討事項・情報交換

2-5 人材バンク登録への推奨と地域拠点事業の推進

2-5-1 人材バンク登録者数 69名

2-5-2 日本栄養士会 認定栄養ケア・ステーション

- ・特定非営利活動法人オレンジステーション
- ・特定非営利活動法人栄養サポートみかん
- ・特定非営利活動法人ぽけっとステーション
- ・株式会社マルエツ料理&カルチャー教室いーとぴあ
- ・たから薬局東松山店
- ・ほほえみーる
- ・日本調剤(株)わらび薬局
- ・日本調剤(株)毛呂薬局
- ・(株)パルネオスト
- ・plusN
- ・薬局オリーブファーマシー
- ・リップル

		<p>期 日 5月21日(土) 場 所 Zoomによるオンライン開催 内 容 「診療報酬改定について」 ①診療報酬改定のポイントについて ②全国リーダー研修会の伝達講習</p> <p>講 師 日本栄養士会医療事業部企画運営委員長 原 純也 参加費 2,000円(会員1,000円) 第2回研修会 (参加者 8名)</p> <p>期 日 7月29日(金) 場 所 Zoomによるオンライン開催 内 容 「実践に役立つ診療報酬改定への対応について」 (基本必須1単位8-1)</p> <p>講 師 (公社)埼玉県栄養士会副会長、医療事業部委員長 前川哲雄 参加費 2,000円(会員1,000円) 第3回研修会 (参加者 20名)</p> <p>期 日 10月8日(土) 場 所 Zoomによるオンライン開催 内 容 「早期栄養介入管理加算算定までの経過と実践」 (基本必須1単位8-1) ～医師をはじめ多職種の理解を得るために～</p> <p>講 師 埼玉医科大学病院 栄養部 小山 智代 参加費 2,000円(会員1,000円) 第4回研修会(福祉事業部と合同) (参加者 25名)</p> <p>期 日 11月13日(日) 場 所 Zoomによるオンライン開催 (医療1単位R61-101) 内 容 (福祉1単位FS61-101) 講義Ⅰ 「埼玉県栄養士会でのJDA-DATの活動について」 講 師 (公社)埼玉県栄養士会副会長、医療事業部委員長 前川哲雄 講義Ⅱ 「病院・施設における非常食について」 ～活用方法や用意すべき量の根拠について学ぶ～</p> <p>講 師 株式会社療食サービス 日本災害食学会認定災害食専門員・防災士 石附大雅 参加費 2,000円(会員1,000円) 第1回コミュニティ広場 (参加者 15名)</p> <p>期 日 12月20日(火) 場 所 Zoomによるオンライン開催 内 容 「これからの医療事業部について」 ～診療報酬改定、PESの普及等、政策課題についての情報共有～</p> <p>第2回コミュニティ広場 (参加者 7名) 期 日 2023年3月14日(火) 場 所 Zoomによるオンライン開催 内 容 「病院給食物価高対策どうしてます？」 ～上がり続ける物価どうしてます?給食材料費や委託契約～</p>
共通	運営委員会	<p>研修会等の企画・運営を行うために開催する。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表4-1 参照</p>

1-2 学校健康教育

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 栄養の専門職として、栄養士のスキルを向上するための研修を行い、併せて会員同士のネットワークの構築を目指す。また、埼玉県学校栄</p>

共通	運営委員会	研修会等の企画・運営を行うために開催する。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表4-3参照
----	-------	--

1-4 研究教育

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 研究教育を職域とする会員の最新の学術・技術について、また科学的根拠の蓄積の情報交換として今後の研修会や勉強会の企画・立案を考えて会合を実施する。</p> <p>(意義と必要性) 研究教育職域における専門性の向上と組織強化を図ることに意義がある。埼玉県下の栄養士養成・管理栄養士養成の計8養成施設校が共通の課題を抱えている内容を気軽に交流できる場として研修会を検討していく必要がある。ただし、課題は全国の養成校においても生じることであり、埼玉県に限らず、全国の養成校の情報を取り入れて検討することが必要である。 財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況) 研修会や勉強会については、日本栄養士会研究教育職域事業部の研修会の企画・運営の提案・協力等とし、開催しなかった。 なお、Zoomによる「コミュニティ広場」についても、会員が新型コロナウイルス感染症への対応に追われ、開催することができなかった。</p>
共通	運営委員会	研修会等の企画・運営を行うために開催する。 (開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表4-4参照

1-5 公衆衛生

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 県保健所及び市町村保健センター等に勤務する行政栄養士を対象として、国や県、市町村の健康増進・栄養に関し効果的な施策の立案、実施のために必要な知識や技術を身につけ、より専門性を高める研修を行う。</p> <p>(意義と必要性) 生涯を通じた健康づくり・栄養改善の推進のため専門性を生かし、県民の健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に貢献するために必要な知識や技術を身につける研修が必要である。 行政に配属される管理栄養士・栄養士は1人配置が多く、管理栄養士・栄養士以外からの職種からのOJT(On the Job Training)を受けざるを得ないため、より専門性を高めるためには、埼玉県栄養士会公衆衛生事業部としての研修が必要である。 財源は本会会費と共催団体からの補助とする。</p> <p>(実施状況) 第1回公衆衛生事業部研修会 6月開催予定の研修会は新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止 第2回公衆衛生事業部研修会 (参加者 34名) 期 日 2023年3月5日(日) 場 所 With Youさいたま 内 容 地域における効果的な健康増進・栄養活動のために視野を広く、専門性を深め、交渉力を持つ</p>

公2	委託事業の実施	<p>(要旨) 栄養ケア・ステーションと連携し、県からの委託事業を実施し子どもの食育を図る。</p> <p>(意義と必要性) 専門職として、栄養の観点から広く県民の公衆衛生の向上のために係ることは意義がある。幼児・児童の食育の一環として、米粉を使用したバランスの取れた食事の普及を推進することで、県民の健康増進に寄与した。</p> <p>本事業は一般県民を対象とし、県内4か所で開催した。</p> <p>(実施状況) 新型コロナウイルス感染拡大につき中止</p>
共通	運営委員会	<p>上記研修会等の企画、運営を行うために開催した。</p> <p>(開催日及び内容) IV-運営に関する会議 表4-6参照</p>

1-7 福祉

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 栄養士を取り巻く環境や関連する法令等を中心に必要となる知識や技術を習得する。</p> <p>(意義と必要性) 福祉施設において必要な情報を共有し、各施設において栄養士業務を円滑に進めることができるように行う。管理栄養士・栄養士の質の向上は適切な食事支援につながり、県民の健康増進に寄与できる。</p> <p>財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況)</p> <p>第1回 福祉事業部研修会 (参加者 18名) 期 日 7月23日(土) 場 所 ZoomによるWeb開催 内 容 介護施設における栄養ケア・マネジメントを学ぶ (高齢期の栄養状態の特徴を踏まえ、栄養ケア・マネジメントの基礎を学ぶ) 講 師 福祉事業部委員長 和多勝弘 参加費 2,000円(会員1,000円)</p> <p>第2回 福祉事業部研修会(医療事業部合同) (参加者 21名) 期 日 11月13日(日) 場 所 Zoomによるオンライン開催 内 容 講義Ⅰ 「埼玉県栄養士会でのJDA-DATの活動について」 講 師 医療事業部委員長 副会長 前川哲雄 講義Ⅱ 「病院・施設における非常食について」 講 師 株式会社療食サービス 石附大雅 (日本災害食学会認定災害食専門員・防災士) 災害時対応(医療R61-101、高齢・障害FS61-101 講義1.0単位) 参加費 2,000円(会員1,000円)</p> <p>第3回 福祉事業部研修会 (参加者 5名) 期 日 2023年2月19日(日) 場 所 Zoomによるオンライン開催 内 容 「栄養ケア・マネジメントを最初から学ぶ(Step00高齢編)」 (実務 FS80-103福祉関連法規、制度の理解 1.0(講義)) 講 師 福祉事業部委員長 和多勝弘 参加費 2,000円(会員1,000円)</p>

公2	委託事業の実施	<p>(要旨) 栄養ケア・ステーション部と連携し、県により委託を受けた事業を実施し、食育の推進、県民の健康維持・増進のために貢献する。</p> <p>(意義と必要性) 専門職として、栄養の観点から広く県民の公衆衛生の向上のために関わることは意義がある。幼児の食育の一環として、米を使用したバランスの取れた食事の普及を推進することで、県民の健康増進に寄与する。</p> <p>財源は委託費とする。</p> <p>(実施状況) 1. 県産米を使った親子おにぎり教室(埼玉県米消費拡大推進連絡協議会) (新型コロナウイルス感染拡大防止につき中止) 2. 彩の国食と農林業ドリームフェスタ食生活無料相談 (新型コロナウイルス感染拡大防止につき中止)</p>
共通	運営委員会	<p>委託事業、地域事業部の円滑な運営を行うため開催する。</p> <p>(開催日及び内容) V-運営に関する会議 表5-1 参照</p>

2-2 西部

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 地域事業部における各職域の資質や知識、技能の向上に関する研修会を実施する。</p> <p>(意義と必要性) 研修会で得た知識や技術を県民への健康増進に提供できる。研修会を通じて西部地域の栄養士の情報交換と親睦を図る。また、会員以外の参加者への本会の紹介の場とし、会員増を図る。</p> <p>財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p> <p>(実施状況) 研修会 西部地域事業部研修会(川越地域事業部、勤労者支援事業部と合同) 期 日 11月開催予定を延期(次年度へ) 場 所 Webもしくは埼玉県栄養士会研修室 内 容 発酵乳とフラクトオリゴ糖 講 師 未定 コミュニティ広場の開催(川越地域事業部と合同) 期 日 2023年1月開催予定を延期(次年度へ) 場 所 Zoomによるオンライン開催 テーマ 第2回 地域の栄養士をつなぐ</p>
共通	運営委員会	<p>委託事業、地域事業部の円滑な運営を行うため開催する。</p> <p>(開催日及び内容) V-運営に関する会議 表5-2 参照</p>

2-3 南部

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 職域事業部と連携して、地域に密着した研修事業を行う。また、地域の非会員への参加を促し、県民の健康増進に寄与する。</p> <p>(意義と必要性) 研修会で得た知識や技術を県民への健康増進に役立てることができる。また、研修会を通じて各地域の管理栄養士・栄養士や多職種との</p>

		<p>進に寄与する。 財源は、主催団体からの協力金とする。 (実施状況) 歯の相談室 期 日 6月5日(日) 場 所 熊谷市母子健康センター 参加費 無料 新型コロナウイルス感染拡大防止につき中止</p>
公2	薬と健康フェア	<p>(要旨) 第9回薬と健康フェア(一社)熊谷薬剤師会主催のイベントに協力団体として参加し、食育の推進を図ることで、県民の健康保持・増進を図る。 (意義と必要性) 地域のイベントに参加し、食育の推進を図ることで、県民の健康増進に寄与する。 財源は、本会会費及び主催団体からの協力金とする。 (実施状況) 薬と健康フェア 期 日 6月26日(日) 場 所 未定 参加費 無料 新型コロナウイルス感染拡大防止につき中止</p>
公2	地域公開講座	<p>(要旨) 各地域事業部で独自または、市町村や他団体との協賛等により、地域性のある栄養セミナーやイベント等を企画立案し、会員が一体となって県民の栄養改善事業を行う。 (意義と必要性) 公益社団法人としての活動を会員が理解し、共に県民に対し栄養改善に寄与する。 財源は、本会会費を充てる。 (実施状況) 第18回 熊谷市産業祭 期 日 11月19日(土) 場 所 熊谷スポーツ文化公園(陸上競技場内) 参加費 無料 新型コロナウイルス感染拡大防止につき参加辞退</p>
共通	運営委員会	<p>委託事業、地域事業部の円滑な運営を行うため開催する。 (開催日及び内容) V-運営に関する会議 表5-4参照</p>

2-5 さいたま市

事業区分	事業の名称	事業内容の要旨及び意義と必要性 (公益目的事業である理由など)
公1	研修会及び報告会	<p>(要旨) 職域事業部と連携して、地域に密着した研修事業を行う。また、地域の非会員への参加を促し、県民の健康増進に寄与する。 (意義と必要性) 研修会で得た知識や技術を県民への健康増進に役立てることができる。また、研修会を通じて各地域の管理栄養士・栄養士や多職種との情報交換と親睦を図ることができる。 今年度は各地域事業部において医療・介護・福祉及び在宅におけるシームレスな栄養ケアの連携を目指して栄養情報提供書について研修会を実施し、地域で顔の見える関係を構築する。 財源は、本会会費及び参加費を充てる。</p>

		<p>講演 発酵乳とフラクトオリゴ糖 (西部事業部、勤労者支援事業部と合同研修会)</p> <p>内容 発酵乳とフラクトオリゴ糖</p> <p>講師 未定</p> <p>コミュニティ広場の開催(西部地域事業部と合同)</p> <p>期日 2023年1月開催予定を延期(次年度へ)</p> <p>場所 Zoomによるオンライン開催</p> <p>テーマ 第2回 地域の栄養士をつなぐ</p>
公2	委託事業の実施	<p>2-1 川越市介護予防自主グループへの出前講座 (要旨) 川越市より委託を受けた事業を実施し、食育の推進、県民の健康保持・増進のために貢献する。 (事業概要) 川越市介護予防自主グループへの専門職派遣による出前講座を実施する。介護予防事業として対象者の栄養改善とともに自立支援を行う事業。 (意義と必要性) 自主グループの活動場所で講義をすることにより、講師と高齢者との距離が近く、会話および質問等が気楽にでき知識を深められる。出前講座講師育成研修会を終了した管理栄養士を派遣することにより潜在栄養士の活躍に繋がる。 財源は、委託費を充てる。 (実施状況) 期日 2022年6月～2023年3月 (参加者 338名) 場所 川越市内自治会館等 参加費 川越市より支援</p> <p>2-2 川越市自立支援型地域ケア会議アドバイザー派遣 実施日 毎月第3金曜 担当者 川越市事業部より派遣</p>
共通	運営委員会	<p>委託事業、地域事業部の円滑な運営を行うため開催する。 (開催日及び内容) V-運営に関する会議 表5-6 参照</p>

Ⅳ 運営に関する会議

1. 理事会及び常任理事会

表1 理事会の開催

開催場所 栄養士会研修室

回	期日	主な内容	出席人数
1	4.23	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2021年度事業報告及び収支決算書について 2. 監査報告 3. 総会の開催について(告示、展示) 4. 後援依頼について 「公益社団法人埼玉県臨床工学技士会第21回 血液浄化セミナー」の後援について 5. 賛助会員申込申請について (株)フジタカコーポレーション 6. JDA-DAT埼玉Follow Up研修会開催について 7. 地域ケア会議アドバイザー研修会について 8. 埼玉県米消費拡大推進連絡協議会令和4年度要望書について 9. 埼玉県警察留置視察委員会委員の推薦について 10. 坂戸市訪問型サービスC業務委託契約について 11. 川島町介護予防・日常生活支援事業(介護予防・生活支援サービス事業)委託契約について 	17/19

4	9.24	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前回議事録の確認 2. 埼玉県糖尿病相談員第5期生認定講習会の後援名義使用について 3. 彩の国連携力育成プロジェクト「緩和ケアIPW 研修会」後援名義使用について 4. 第35回埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会の後援名義使用について 5. 令和4年度埼玉県民栄養調査の受託について 調査地区（6ヶ所） 秩父郡皆野町・熊谷市・鶴ヶ島市・春日部市・小川町・戸田市 6. 各部の事業計画書及び業務部会議報告について 7. SNSを利用した会員ネットワークの利用規約について（広報部） 8. 日栄発22-319-2号 通知 協力依頼 「介護保険施設への管理栄養士の複数配置促進に向けた働きかけについて」 9. 理事の辞任、退任について 10. その他 <ol style="list-style-type: none"> ①コピー機、印刷機、パソコンリース満期にともなう買い替えについて ②埼玉県地域リハビリテーション推進協議会委員の推薦 ③埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会部会の委員候補者推薦 ④埼玉県食生活改善推進員協議会より講演講師の依頼について ⑤埼玉県公衆衛生功労者知事表彰 令和4年度三郷市自立支援型地域ケア会議模擬助言者派遣依頼 ⑥2022年度第1期 認定栄養ケア・ステーション承認事業所 埼玉県では3事業所が認定（ohana、オリーブファーマシー、TOROto） ⑦令和5年度桶川市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の見積書提出について ⑧各部進捗状況報告 ⑨会員の推移 ⑩（公社）埼玉県歯科衛生士会 令和4年度第8回県民フォーラムのチラシ 	18/19
5	12.10	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東松山市同行訪問業務見積書の依頼 2. 埼玉県フレイル予防のためのお手軽レシピ集作成業務見積書の依頼 3. 来年度の理事会、事業等の計画（案）について（総務部） 4. 2023年度 生涯教育研修会について 5. 新年賀詞交換会開催について 6. 事業計画書 7. 賛助会員入会について R5年4月入会希望 株式会社勝美ジャパン 8. 認定栄養ケア・ステーション申請書について 鈴木薬局、リヒト薬局、薬局アポック川越中央店 9. 地域ケア会議専門職別助言者研修会講師依頼について 10. その他 <ol style="list-style-type: none"> ①埼玉県安全対策の取り組みに対する補助金について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ノートパソコン購入について 2. 各業務部進捗状況報告 3. 2023年2月9日 埼玉県地域包括システム推進会議出席者推薦について 4. 令和4年度三郷市自立支援型地域ケア会議助言者の派遣依頼 5. 地域栄養ケア連携会議の報告（栄養CS） 6. その他 	18/19
6	2023.3.4	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2023年度事業計画案及び予算案について 2. 来年度の理事会、事業等の計画（案）について（総務部） 	14/19

3	11.21	<ul style="list-style-type: none"> 4. 新年賀詞交換会開催について 5. 事業計画書 <ul style="list-style-type: none"> ①西部・川越事業部合同研修会 6. 各業務部進捗状況 7. 生涯教育検討委員会について（来年度の講演テーマ等） 8. その他 <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 災害時における特殊食品の提供の協力について 2. 令和5年度川島町フレイル事業等の見積もり提出及び伊奈町フレイル対策等保健事業見積提出について 3. 米まつりコロナ禍により開催中止 4. 県民栄養調査進捗状況報告 5. ファーストステップ研修会アンケート 6. その他 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 東松山市同行訪問業務見積書の依頼 2. 埼玉県フレイル予防のためのお手軽レシピ集作成業務見積書の依頼 3. 第3回生涯教育研修会開催について 4. 令和4年度三郷市自立支援型地域ケア会議助言者の派遣依頼 5. 新年賀詞交換会開催について 6. 事業計画書 7. 各業務部進捗状況 8. 生涯教育検討委員会について（来年度の講演テーマ等） 9. 認定栄養ケア・ステーション申請書について 10. その他 <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. ノートパソコン購入について 2. その他 	8/8
4	2023.1.30	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度自立支援地域ケア会議への派遣について（坂戸市） 2. 京浜地区会長会議について 3. 埼玉県食育推進会議 4. 2022年度第2回諮問会議開催について 5. 法人50周年記念誌の発行について 6. 2023年度事業計画について 7. 埼玉県医師会新年会 8. 在宅医療等の補助金について 9. 研修会申し込み状況について 10. その他 <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 小川町健康ポイント事業評価業務について 2. その他 	8/8

表 4-2 学校健康教育事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	8.28	Web会議	コミュニティ広場の開催について 研修会の開催について 会員数の動向について	5/5

表 4-3 勤労者支援事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
			開催なし	

表 4-4 研究教育事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
			開催なし（2022年度事業についての検討、情報の伝達はメールにより行った）	

表 4-5 公衆衛生事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	11.12	教育会館	第3回コミュニティ広場・第2回研修会について	6/10
2	2023.3.5	With You さいたま	2023年度事業について	8/10

表 4-6 地域活動事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	7.13	Web会議	2022年度の事業内容について	5/8
2	10.25	Web会議	研修会反省、生涯教育検討、来年度事業の件	6/8
3	2023.2.13	Web会議	リーダー研修会報告、コミュニティ広場の件	6/8

表 4-7 福祉事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	5.28	Web会議	第1回Zoomを活用したコミュニティ広場の反省 今後の福祉事業部の研修会について	3/7
2	7.23	Web会議	第1回福祉事業部研修会の反省 今後の福祉事業部研修会について	5/7
3	10.24	Web会議	第2回Zoomを活用したコミュニティ広場の反省について 今後の福祉事業部研修会について	5/7

表 5 地域事業部 運営委員会の開催

表 5-1 東部地域事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	6.22	Web会議	今年度事業計画について	5/6
2	11.4	Web会議	コミュニティ広場の反省、来年度計画案について 研 修会の反省	5/6
3	2023.2.17	Web会議	次回のコミュニティ広場について	4/6

表 5-2 西部地域事業部

回	期 日	開催場所	主 な 内 容	出席人数
1	7.6	メール会議	今年度事業計画について	5/5
2	10.1	メール会議	生涯教育研修会（第1回、2回）について	5/5
3	12.28	メール会議	研修会について	5/5

VI 日本栄養士会関係会議への参加

主 な 内 容	月 日	場 所	出 席 者
日本栄養士会定時総会	6月26日	Web開催	代議員
第1回諮問会議	5月15日	Web会議	会長
第2回諮問会議	2023年2月18、19日	日本栄養士会	会長
第1回京浜地区会長会議 (行政・連盟合同)	7月29日	Web会議	会長、連盟支部長、事務局
第2回京浜地区会長会議	2023年1月30日	Web会議	会長、副会長、事務局長
第1回生涯教育研修会担当国会議	7月24日	Web会議	副会長
第2回生涯教育研修会担当国会議	2023年2月23日	Web会議	会長
JDA-DAT 運営委員会	5月12日	Web会議	副会長
JDA-DAT Dims 操作説明会	7月30日	Web会議	担当理事
公衆衛生事業部 全国リーダー育成研修会	4月23日	Web開催	事業部委員長
医療事業部 全国リーダー育成研修会	4月16日・17日	Web開催	事業部委員長
学校健康教育事業部 全国リーダー育成研修会	2023年1月22日	Web開催	事業部委員長
勤労者支援事業部 全国リーダー育成研修会	2022年12月11日	Web開催	事業部運営委員
研究教育事業部 全国リーダー育成研修会	2023年1月29日	Web開催	事業部副委員長
京浜ブロック 福祉事業部リーダー会議	2022年8月7日	Web開催	事業部委員長
地域活動事業部 全国リーダー育成研修会	2023年2月3日	Web開催	事業部委員長
福祉職域全国リーダー研修会	2023年2月25日	Web会議	事業部副委員長
医療事業部 第1回京浜地区リーダー育成研修会	8月27日・28日	Web開催	事業部委員長
医療事業部 第2回京浜地区リーダー育成研修会	2023年2月23日	Web開催	事業部委員長 運営委員
2022年度全国栄養士大会並びに栄養改善大会	7月8日～8月7日	Web開催	会員
全国栄養ケア・センターリーダー研修会	12月11日	Web会議	常任理事

月 日	主 な 内 容	場 所	出 席 者
9月26日	埼玉県牛乳普及協会第43回料理コンクール埼玉県大会書類審査	全農高砂ビル	会長・人材バンク
9月～2月	2022年度大宮包括ケアネット会議（連携推進会議）	大宮区	常任理事
10月23日	埼玉県牛乳普及協会第43回料理コンクール埼玉県大会	埼玉県栄養専門学校	会長・人材バンク
10月26日	埼玉県摂食嚥下研究会作業部会	Web開催	会長
11月6日	彩の国連携育成プロジェクト「緩和ケアIPW研修会」	Web開催	副会長 会員
11月27日	埼玉県摂食嚥下研究会第16回理事会及び第16回総会 第38回研修会	彩の国すこやかプラザ	会長
2023年 2月1日	埼玉県食育推進検討会議	埼玉会館（ハイブリット形式）	会長
2023年 2月23日	埼玉県摂食嚥下研究会 第39回講演会	大宮区	会長 会員
3月28日	埼玉県地域リハビリテーション推進協議会運営委員会	Web	会長

Ⅹ 各自治体および諸団体等に対する栄養改善事業への協力

(2022年度)

月 日	主 な 内 容	場 所	出 席 者
4月～3月	越谷市介護予防出前講座	越谷市内	人材バンク
6月14・22日	JA健康で風土に合った食生活研修会	JA埼玉ひびき・JAあさか野	人材バンク
6月25日 9月10日	家族介護教室講師	八潮市	人材バンク
6月～2月 (3回)	消費生活講座 食品表示について	春日部市・志木市・入間市	人材バンク
6月～3月 (四半期毎)	被留置者食事栄養分析	埼玉県栄養士会研修室	人材バンク
7月25日	宮代町栄養講座（出前講座）	宮代町内	人材バンク
7月～3月	杉戸町地域リハビリテーション活動支援事業（計5回）	杉戸町内	人材バンク
9月～ 2023年1月	埼玉県障害者交流センター 料理教室（栄養を学ぶ）（計2回）	埼玉県障害者交流センター	人材バンク
10月～3月	小川町元気アップ教室（4日間）	小川町健康福祉センター パトリアおがわ	人材バンク
10月～12月	さいたま市西区シルバーライフ向上事業	さいたま市西区	人材バンク
11月6日	彩の国連携力育成プロジェクト 緩和ケアIPW研修会	オンライン	人材バンク
2023年 1月23・ 24日	川口市ニュータウンビルサービス(株)講習会 保育園給食におけるアレルギーへの取組について	川口駅前リリア	人材バンク
2023年 2月9日	埼玉県地域包括ケアシステム推進会議	ロイヤルパインズホテル浦和	会長

団 体 役 職 名	委 嘱 者
日本栄養士会選任決議管理委員会委員	理 事
日本栄養士会選任決議立会人	常 任 理 事
埼玉県脳卒中・心臓病・その他の循環器病対策推進協議会部会委員 脳卒中担当、心疾患担当	副 会 長

2. 本会後援協力の諸団体について

内 容	月 日	団 体 名
さいたま地域連携 Network セミナー	5月19日	大塚製薬大宮支店
彩の国連携育成プロジェクト緩和ケア IPW 研修会	11月6日	彩の国連携育成プロジェクト
第35回埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会	10月21日	埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会
第29回埼玉糖尿病教育セミナー	7月2日	埼玉県糖尿病協会
第7回埼玉ロコモ OLS 研究会	7月23日	埼玉ロコモ OLS 研究会
埼玉県糖尿病相談員第5期生認定講習会	11月13日	埼玉県糖尿病協会
熊谷糖尿病ネットワーク第23回特別例会熊谷内科 医会勉強会	8月6日	熊谷糖尿病ネットワーク
彩の国連携力育成プロジェクト 緩和ケア IPW 研 修会	11月6日	彩の国連携力育成プロジェクト
(公社) 埼玉県臨床工学技士会第21回血液浄化セ ミナー	7月25日～ 8月14日	(公社) 埼玉県臨床工学技士会
埼玉県糖尿病相談員第5期生認定講習会	11月13日	埼玉県糖尿病協会

3. 公益社団法人日本栄養士会関係

3-1 代議員 (2022～2023年度)

氏 名	勤 務 先
平野 孝則	埼玉医科大学病院
水野 文夫	城西大学
前川 哲雄	埼玉県立がんセンター
川嶋 啓子	
関口 礼子	埼玉精神神経センター
小川実登里	
中山 順子	

3-2 選任決議管理委員会 (2022～2023年度)

氏 名	職 名	勤 務 先
加藤 章子	選任決議委員会委員	大崎むつみの里
丸山 新人	選任決議立会人	老人保健施設さんとも

3-3 職域推進委員 (2022～2023年度)

氏 名	職域事業部	勤 務 先
加藤 耕平	学校健康教育	新座市東北小学校
村山 美紀	医療	埼玉医科大学病院

(2017年度 24名)

阿部則子 今木幹子 遠藤典子 沖みち代 小田島京子 角田津恵子
加藤章子 加藤旬 菊地宏尚 小島佐知子 小池由起 関口礼子
辻博子 塚田晶子 名倉美佐 西川えみ 平栗美紀 穂積美彩
宮間千鶴子 内田嘉奈子 元島洋子 山崎章子 山本綾香 横原夢見

(2018年度 21名)

井原翔 今木幹子 大原満代 角屋智代 流石順子 鈴木恵美 岡山薫
高橋佐紀子 竹内邦恵 竹下美穂 中辻治子 野澤智子 野村知恵子
平野孝則 堀由美子 堀口さやか 前川哲雄 水野文夫 内田嘉奈子
吉田圭子 和田茉莉江

(2020年度 25名)

大西未歩 小川美登里 大平千鶴 小河原佳子 川嶋啓子 加藤章子
木村留理 菊地宏尚 佐藤恒己 齋藤加代子 佐藤恵理子 柴崎千裕
関口礼子 時田美恵子 仲野歩 原島菜美 丸山新人 宮永美佐子
村山美紀 森真希 山口美月 和多勝弘 高谷洋美 安藤夏美 内海暁子

(2021年度 28名)

阿部花美 新井春那 稲田満里菜 井原佐知子 飯塚里奈 大野尚子
奥田節子 川崎喜代美 岸田厚子 工藤志帆 小島杏里 小林信子
先前ひとみ 櫻井原代 佐藤真由 白井涼子 須長典子 田島友美
時田美恵子 永井美紀 中山綾 中山由香里 古川光恵 増満隆倫
山崎仁史 山崎美由紀 吉田理恵 岩本珠美

(2022年度 17名)

奥山奈央 園山薫 品田幸恵 丸山新人 金澤弘子 猪野瀬渚
下山陽子 富樫慎 加納陽子 石田美枝 古賀希 田場光枝 新井悟
小熊雅美 小松佑綺 菊地宏尚 坂井麻来

延べ 150名